

令和 4年度

事務事業評価表 ( 令和 3年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 4 年 4 月 14 日

事務事業名		学校保健特別対策事業			事業区分		担当	
					新規/継続	新規	事務事業No.	020103001073
					単独/補助	補助		090101
政策体系		政策体系上の位置付け					所属課	学校教育課
総合計画の施策名		O201 学校教育の充実					課長名	
政策名		O2 生きがいを育む学びのまちづくり					グループ	総務グループ
施策名		O1 学校教育の充実					担当者名	
手段名		O3 ③教育環境の整備						
		財務会計上の位置付け			事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	10	02	01	14	00	岩瀬小学校保健特別対策事業	
法令根拠		補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律、学校保健特別対策事業費補助金交付要綱						

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
令和元年度から令和2年度にかけてコロナウイルス感染症拡大により学校が休校となった。各学校が段階的な学校再開に際して、学校保健特別対策事業補助金を活用し、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の再開を支援する経費を各学校に配分し、感染症対策等を徹底しながら児童・生徒の学習保障をするための新たな試みの実施や保健衛生用品の購入を支援する。令和3年度は感染症対策等の学校教育活動継続支援事業として継続された。  ※予算は、各学校保健特別対策事業の合算。また、令和3年度の計画額は、令和2年度からの繰越明許費。	国庫補助金について、交付申請・概算払い請求・実績報告・精算等を随時行う。 補正予算要求を行い、各学校に予算配分をする。 各学校における予算執行について、指導・助言を行う。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
国庫補助金に係る事務手続きを行うとともに、各学校に配当した予算が適正に執行されるよう指導・助言を行う。	小学校でコロナウイルス対策として支出した額	千円	9,653.00	7,851.00	7,890.00	0.00	0.00
	中学校でコロナウイルス対策として支出した額	千円	4,078.00	3,710.00	3,720.00	0.00	0.00
	義務教育学校でコロナウイルス対策として支出した額	千円	2,538.00	2,308.00	2,310.00	0.00	0.00
	教育委員会で学校用保健衛生用品を購入した額	千円	952.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
学校、児童・生徒	学校数	校	14.00	13.00	13.00	0.00	0.00
	児童・生徒数	人	2,797.00	2,742.00	2,578.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
コロナ禍においても感染症対策を徹底しながら、学習の機会が保障される。	学習の機会の保障がなされた学校数	校	14.00	13.00	13.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	8,475	6,750	6,750			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	8,746	7,119	7,170			
	事業費計 (A)	千円	17,221	13,869	13,920			
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)			04年度事業費 予算 (千円)		
	10 需用費	5,336		10 需用費	4,640	
	11 役員費	165		13 使用料及び賃借料	4,640	
	14 工事請負費	854		17 備品購入費	4,640	
	17 備品購入費	7,514				
	合計	13,869		合計	13,920	

事務事業名	学校保健特別対策事業	事務事業No.	20103001073	所属課	学校教育課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
令和2年3月からコロナウイルス感染症拡大のため、小中義務教育学校が休校となった。6月以降の学校の段階的な再開にあたり、感染症対策等を徹底しながら児童・生徒の学習保障をするために必要な経費が補助されることとなった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
コロナウイルス感染症対策には経費がかかるため、学校からはありがたいという意見とともに、次年度以降も継続してほしいとの意見がある。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている コロナウイルス感染症対策を行うことは、教育環境の整備につながるものであり、教育の機会が保障されるので学校教育の充実に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 国庫補助金を活用した事業であり、学校設置者である市が行うことは妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 国庫補助金の補助上限額内で実施しており、また事業実施要項に沿って事業を行っているため向上の余地はない。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 コロナウイルス感染症対策のための費用が不足するため、学校運営や教育活動に影響がある。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 国庫補助金の補助上限額内で実施しており向上の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内のすべての学校、在籍する児童生徒及びその保護者を対象としており、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>校長の判断で実施する「学校裁量経費」とされてはいるが、常に助言が必要となり事務量が多かった。</li> <li>各学校の実情に応じて、コロナ禍においても対策を行いながら学校運営や教育活動を円滑に行うための環境整備を行うことができた。</li> <li>令和2年度の繰越明許費であり、令和3年度の校外活動のバス代に充当することができなかった。</li> </ul>																		
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">向上維持</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加	向上維持	向上		○	×	低下	×	×	×
成果	向上維持低下	コスト																		
		削減	維持	増加																
向上維持	向上		○	×																
	低下	×	×	×																
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認